

プレミアム付商品券発行事業に

5億1200万円追加

新地公園に グラウンドゴルフ場建設予定！

やごろうの里でプレイを楽しむ市民

3月定例会は、2月19日に開会し、3月25日までの35日間の日程で開かれました。

定例会では、平成27年度当初予算や平成26年度補正予算に関するものの他、曾於市有住宅譲渡条例の制定についてなど議案39件、承認1件、発議3件、陳情3件を審議・議決しました。

【 予 算 】

☆平成26年度曾於市一般会計補正予算（第8号）

（全会一致 可決）

今回の補正予算は、それぞれの事業の確定及び執行見込みによる精算的なものによる増減が主なもので、歳入については、平成25年度国の補正予算で交付された、がんばる地域交付金の追加や事業費の確定等による県支出金や市債等の減、財源調整による財政調整基金繰入金の減、収入見込みによる使用料や交付額の確定による普通交付税の追加が主なものです。

歳出については、対



平成27年度 一般会計予算

231億円

前年対比 10.3%(21億6千万円)の増

象者等の増による障害者福祉サービス費や保育所運営費、放課後児童クラブ事業費等の追加、県営中山間地域総合整備事業負担金等の県営事業負担金の追加など事業費の確定及び執行見込みによる各事業費の増減が主なものです。また、後年度の公債費負担を減らすため市債元金の繰上償還金を追加しています。

☆平成26年度曾於市一般会計補正予算(第9号)

(全会一致 可決)

今回の補正は、国の補正予算に対応した事業の追加で、歳入については、国庫支出金を1億6860万円、財産収入を4億1500万円、財政調整基金繰入金を1209万円追加しています。

歳出については、国の補正予算による地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、地方創生総合戦略策定事業を814万円、移住交流促進事業を763万円、地域内交流促進事業を902万円、特色ある観光誘致事業を2475万円、消費喚起プレミアム付商品券発行事業を5億1200万円追加するものが主なものです。また、社会資本整備総合交付金の追加により、橋梁長寿命化修繕事業を1470万円追加しています。

条 例

☆曾於市介護保険条例の改正について

(賛成多数 可決)

介護保険法第117条の規定により第6期曾於市介護保険事業計画に基づき、平成27年度から平成29年度までの介護保険料率等を改定するものです。

☆曾於市児童福祉法第56条第3項の規定による費用徴収条例の改正について

(全会一致 可決)

子ども・子育て支援法の平成27年4月1日からの施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関して必要な事項を定めるものです。

☆財産の無償貸付けについて(旧財部南中学校)

(全会一致 可決)

旧財部南中学校は、施設の有効利用のため、コールセンター業を営む複数の会社に事業開始の依頼を行う中、(株)TOUAから事

業を行いたいとの申出があり、当施設を建物は無償・土地は有償で貸付けをし、企業を誘致するものです。

☆財産の無償貸付けについて(旧岩北学校給食共同調理場)

(賛成多数 可決)

東京に本社のある(株)グローバルハートが、この施設を利用して、大隅地域の素材を利用した健康美容製品の製造、また素材には地元産の「ヨモギ」「モミガラ」「スギナ」「シラス」等からケイ素成分を抽出して、製品を製造したいとの申出があり、当施設を建物は無償・土地は有償で貸付けるものです。

☆曾於市特別職等の給料の特例に関する条例の制定について

(賛成多数 可決)

平成27年度予算編成における厳しい財政状況を踏まえ、平成27年

4月1日から平成28年3月31日までの間、特別職等の給料の2%を減額するものです。

当初予算

☆平成27年度曾於市一般会計予算

(賛成多数 可決)

本年度の一般会計当初予算は、平成26年度当初予算に対して、21億6千万円10・3%増の231億円となりました。

歳入については、市税は、固定資産税の減等により、2・5%減の27億7977万円を計上し、地方交付税の普通交付税は、平成27年度地方財政対策における地方交付税の伸び率と本市独自の事情を考慮して算定し、84億5千万円となっています。

県支出金は、鶏肉・鶏卵生産効率化事業費補助金等の減により、19・7%

減の13億9565万円を計上し、寄附金は、思いやりふるさと寄附金の増により、2億1070万円となっています。

繰入金は、財政調整基金やふるさと開発基金、土地改良事業基金等からの繰り入れにより、157・6%増の28億8940万円を計上し、市債については、コミュニティFM放送施設整備事業や小学校施設整備事業等の増により、31・5%増の32億1650万円となっています。

次に、歳出については、人件費は、非常勤職員等の増により、4・2%増の30億9368万円となり、物件費は、特産品PR推進事業や小学校教師用教科書購入費等の増により、6・9%増の28億3466万円。扶助費は、障害者福祉や児童福祉の扶助費の増により、3・5%

増の38億5445万円、補助費等は、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例交付金等の減により、7%減の19億6729万円、公債費は1・1%減の29億7713万円となっています。

また、繰出金は、国民健康保険特別会計への繰出金の減により、0・8%減の23億8260万円。普通建設事業費は、コミュニティFM放送施設整備事業や小学校施設整備事業、国営二期事業負担金等の増により、50・9%増の53億5407万円となっています。

特別会計予算

☆平成27年度国民健康保険特別会計予算

(全会一致 可決)

予算については、年間平均の国保世帯数を7196世帯、被保険者数を1万2023人

と推計し、平成26年度の決算見込みに対する1人当たりの療養給付費を推計され、療養費及び高額の伸び率を、一般被保険者、退職被保険者とも5%を見込み予算編成されています。

また、単年度赤字の改善を図るため、一般会計から9千万円の法定外繰入を行い、予算総額は対前年比10・8%増69億3027万2千円となっています。

☆平成27年度後期高齢者医療特別会計予算

(賛成多数 可決)

後期高齢者医療広域連合の積算に基づき改正された保険料率が平成27年度まで適用されるため、平成26年度と同様、賦課限度額27万円をもって予算編成がなされ予算総額は対前年度比0・1%増の5億3673万1千円となっています。

☆平成27年度介護保険特別会計予算

(全会一致 可決)

平成26年度で策定された第6期介護保険事業計画においてこれまでの実績を基に、今後3年間の保険給付費を推計し平成27年度の予算総額は52億1612万9千円対前年度比2・8%の増となっています。

☆平成27年度笠木簡易水道事業特別会計予算

(全会一致 可決)

大隅町笠木地区の4地区(笠木地区・鍋地区・桂地区・牧地区)について平成26年度から平成28年度までの3ヶ年で施設を整備し、完了した地区より順次給水を開始予定であり、予算総額は2億2125万円となっています。

☆平成27年度公共下水道事業特別会計予算

(全会一致 可決)

平成27年度は引き続き、菅渡・法楽寺地区の技線管渠築造工事を実施し、計画処理区の200haを完了する予定であり、予算総額は2億319万円となっています。

☆平成27年度水道事業会計予算

(全会一致 可決)

本年度は、取水設備工事が財部水道の西村水源整備工事・末吉上水の高松地区さく井工事・水道管布設工事が末吉上水の深川西前地区、黒鳥地区、寺田地区、末吉管水の柳迫地区、布設替工事が大隅上水の長迫地区、大隅南簡水の荒谷地区、末吉上水の有持地区、財部水道の南地区が計画されています。予算総額は、8億8215万円となっています。

コミュニティFM放送施設整備事業

4億3,839万円

コミュニティFM放送を通じて、市民へ行政からのお知らせや市内の防災等の緊急放送を行います。



コミュニティFMスタジオ（提供：八女市）

宅配サービス事業

902万円

高齢者等の交通弱者に対して3つの道の駅を利用し商品の宅配業務を行います。



道の駅すえよし 四季祭市場

新地公園造成工事 グラウンドゴルフ場建設予定地

4,245万円

市民の健全な心身の育成と福祉の増進を図ります。



グラウンドゴルフ場建設予定地

クローズアップ

新年度予算

小学校施設整備事業

5億9,643万円

市内の小学校施設整備を実施することにより、児童の生活安全面及び学力向上を図ります。



改築される檣小学校体育館

末吉総合センター施設改修

7,004万円

設備を改修し、地域の芸術及び教育の向上を図ります。



末吉総合センター

平成 27 年度一般会計 231億円はこのようなに使われます

☆市民サービスのために

28 億 7,294 万円

議会費 2 億 1,196 万円

総務費 26 億 6,098 万円

☆生きがいと健康のために

81 億 4,257 万円

民生費 68 億 7,221 万円

衛生費 12 億 7,036 万円

☆豊かなくらしのために

40 億 5,822 万円

労働費 255 万円

農林水産業費 37 億 9,410 万円

商工費 2 億 6,157 万円

☆くらしと安全のために

28 億 4,304 万円

土木費 21 億 762 万円

消防費 7 億 572 万円

災害復旧費 2,970 万円

☆文化と教養のために

21 億 7,610 万円

教育費 21 億 7,610 万円

☆返済のために

29 億 7,713 万円

公債費 29 億 7,713 万円

☆備えのために

3,000 万円

予備費 3,000 万円

会 計 名		27 年度 (当初予算)	26 年度 (当初予算)	増減比率(%)
一 般 会 計		231 億円	209 億 4,000 万円	10.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	69 億 3,027 万円	62 億 5,582 万円	10.8
	後 期 高 齢 者 医 療	5 億 3,673 万円	5 億 3,597 万円	0.1
	介 護 保 険	52 億 1,612 万円	50 億 7,558 万円	2.8
	公 共 下 水 道 事 業	2 億 319 万円	2 億 1,385 万円	▲ 5.0
	生 活 排 水 処 理 事 業	1 億 1,462 万円	1 億 1,331 万円	1.2
	笠 木 簡 易 水 道 事 業	2 億 2,125 万円	2 億 2,558 万円	▲ 1.9
水 道 事 業 会 計		8 億 8,215 万円	7 億 4,708 万円	18.1

6 月定例会の予定

6月12日 開 会

6月18・19・22日 一般質問

7月3日 閉 会



議会をライブ中継しています!

曾於市議会では、インターネットによるライブ中継と録画放送を行っております。

映像は曾於市のホームページより、「議会映像配信」のボタンをクリックしてお入りください。

<http://www.soo-city.stream.jfit.co.jp/>

意見書

☆ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書（全会一致 可決）

特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法の制定時になされた附帯決議に則して、肝硬変・肝がん患者を救済するための医療費助成を含む生活支援策を講じる必要があることから、関係機関に意見書を提出するものである。

☆「手話言語法」制定を求める意見書（全会一致 可決）

手話は、耳が不自由な人にとって大事なコミュニケーション手段であり、音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話を学び、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法制度が必要であることから、関係機関に意見書を提出するものである。

提出

内閣総理大臣ほか関係機関

あなたの声を聞かせてください！

平成 27 年度 議会報告会開催

平成 27 年度の議会報告会を、本年も市内 3 地区にて開催します。
市政の課題と議会の活動状況等を報告し、市民の皆様の声をお聞きしながら、今後の議会活動に活かしてまいります。多くの皆様の参加をお待ちしております。

日 時	会 場	班 構 成
5月24日(日) 14時～	大隅中央公民館	1 班 (岩水 豊議員、大川内富男議員、徳峰一成議員、 八木秋博議員、山田義盛議員、坂口幸夫議員)
	財部中央公民館	2 班 (上村龍生議員、宮迫 勝議員、今鶴治信議員、 久長登良男議員、九日克典議員、伊地知厚仁議員)
	末吉中央公民館	3 班 (土屋健一議員、海野隆平議員、湊合昌昭議員、 原田賢一郎議員、泊ヶ山正文議員、迫 杉雄議員)

○谷口 義則議長、大川原 主税議員は公務出張